

「防災部会」令和2年度後期活動報告について**1 開催日時**

第1回防災部会 令和 2年 7月28日

第2回防災部会 令和 2年10月27日

第3回防災部会 令和 3年 3月 2日

2 部会員名簿

団体等名	氏名
刈谷市社会福祉協議会	鳥居 信宏（部会長）
刈谷市社会福祉協議会	鈴木 淳史
社会福祉法人 観寿々会	大野 幸浩
西三河南部西地域アドバイザー	大南 友幸
衣浦東部保健所	黒田 あゆみ
危機管理課	石原 秀

3 報告事項**(1) 第2回防災部会（令和2年10月27日開催）**

福祉避難所の運営等を見直すに当たり、各施設等で既に対策していること、今後実施したいこと、不安や疑問点等を共有するため、部会員ごとに「福祉避難所に係る現状・課題整理シート」を作成し、「人」や「物」といった対象ごとに現状把握や課題等の洗い出しを行い、意見交換を行った。

既に対策していることとしては、12施設の福祉避難所の指定や、各施設において受け入れる部屋の想定はあること、また、基本的にどの施設にも備蓄倉庫が設置されており、備蓄倉庫には一定程度の備蓄品が確保されている等の報告があった。

一方、課題や疑問点等として、「人」に関することでは、福祉避難所を運営する人員や専門的な支援を行う人材の確保及び配置の見直しや、確実に避難対象者を受け入れることができるか、また、福祉避難所には一般避難所よりも多くの発電機を備えているものの、必要十分な電源確保に向けて、人工呼吸器等で電源が必要となる人数を把握する必要があるとの意見が挙がっ

た。

また、「物」に関することでは、備蓄品の定期的な確認や使用方法の習得、経管栄養やミキサー食等の要配慮者に合わせた非常食等を確保する必要があるといった意見が挙げられた。

そのほか、コロナ禍を想定した福祉避難所の在り方、在宅避難、外部支援等についても検討する必要があるとの意見が挙げられた。

(2) 第3回防災部会（令和3年3月2日開催）

第2回までの防災部会で出た意見等を参考に、福祉避難所に関する課題を一覧にまとめ、多岐に渡る課題の中から、令和3年度に取り組む課題の優先順位付けと、課題を解決するための方向性等について協議した。

4 令和2年度の目標に対する総括及び今後の検討課題

防災部会を通じて福祉避難所の関係機関が顔の見える関係となり、ネットワークが構築されたことで、会議の場だけでなく、日常業務においても円滑に福祉避難所についての議論を進めることが可能となった。

また、今年度の防災部会では、各機関がそれぞれ抱えていた課題等を整理することができ、福祉避難所について情報共有を図るとともに、課題解決の方策等を意見交換することができた。

その結果、取り組む課題の優先順位付けや課題を解決するための手がかりが得られたため、福祉避難所の迅速な開設、適切な運用に向けて、令和3年度は、関係機関同士の連携をさらに深めながら、事前準備の見直しや運営に関するルール作り等について具体的な検討を行う。

【令和3年度の主な検討課題】

- ・避難対象者に関すること
- ・人工呼吸器等で電源が必要となる人数を把握し、電源確保につなげる
- ・各施設の受入人数や避難スペースの算出方法の見直し
- ・福祉避難所運営マニュアルの見直し